

〔例会報告〕

上村日影岩の植物観察会

井上 健

第148回例会は、1995年5月20日に下伊那郡上村の尾高山中腹の日影岩周辺の植物観察を中心に行われた。講師として愛知教育大学の芹沢俊介先生、観察地の案内に市瀬光明さん・北沢あさ子さんらが参加した。研究会からの参加者は林 一六・浅野一男・今井建樹・池田登志男・中山 冽・友野増夫・小口 好久・小沢正幸・井上 健の9名であった。観察会は日帰りで行われ、朝9時に下伊那郡松川町の松川インター出口に集合し、車に分乗し尾高山方面に向かった。観察場所は標高1200～1700 mの地点にあり、植生は亜高山の針葉樹林帯下部から冷温帯の落葉広葉樹林帯である。森林はかつて伐採された2次林であるが、植林がなされていないので植物の種類数はかなり豊富であった。林床の草本はシカにより食べられているため、シカの食べないサクラソウやルイヨウボタンなどが多く見られた。芹沢先生はテンナンショウ属植物が専門なので自生地でテンナンショウの話を聞いたりしながら、観察を行った。当日見慣れないサバノオ属の植物が観察され、現在会員の小沢さんが検討を行っている。観察会は午後5時頃松川町で現地解散した。

当日目撃された植物は以下のリストに掲げられるように、シダ植物22種、裸子植物2種、被子植物121種、合計145種であった。大部分の植物は標本として信州大学の標本庫に入っている。

尾高山日影岩周辺植物リスト

シダ植物：スギナ・イワヒバ・ヒロハハナヤスリ・ナツノハナワラビ・ミツデウラボシ・ハコネシダ・フクロシダ・イワトラノオ・ヒメコケシノブ・クサソテツ・ミヤマクマワラビ・ハクモウイノデ・ツヤナシノ

デ・クジャクシダ・ウラゲイワガネ・イヌワラビ・クモノスシダ・オウレンシダ・イワデンダ・ナガオノキシノブ・オシャグジデンダ・イワイタチシダ

裸子植物：(マツ科) ウラジロモミ、(イヌガヤ科) イヌガヤ

被子植物：(ブナ科) ミズナラ、(カバノキ科) ウダイカンバ・シラカバ・ダケカンバ・アサダ・サワシバ・ミズメ・クマシデ・イヌシデ・ツノハシバミ、(クルミ科) サワグルミ・オニグルミ、(クワ科) カラハナソウ、(ヤナギ科) バッコヤナギ・コゴメヤナギ・イヌコリヤナギ、(クスノキ科) ダンコウバイ・クロモジ、(センリョウ科) フタリシズカ、(カツラ科) カツラ、(フサザクラ科) フサザクラ、(マツブサ科) マツブサ、(アケビ科) ミツバアケビ・アケビ、(グミ科) アキグミ、(ナデシコ科) ミヤマハコベ・ミミナグサ・オオヤマハコベ、(メギ科) ルイヨウボタン、(ウリノキ科) ウリノキ、(カエデ科) チドリノキ・ミツデカエデ・オニイタヤ・ウラゲエンコウカエデ・コハウチワカエデ・メグスリノキ・ホソエカエデ、(ウマノスズクサ科) フタバアオイ、(キンボウゲ科) キケンショウマ・トウゴクサバノオ？、(クロウメモドキ科) クロカンバ・クロウメモドキ、(ニシキギ科) コマユミ、(アカバナ科) タニタデ、(ミカン科) サンショウ・イヌザンショウ、(ケシ科) ムラサキケマン・ナガミノツルケマン・タケニグサ・クサノオウ、(アブラナ科) ワサビ・イヌナズナ・ヒロハコンロンソウ・ミヤマハタザオ・タネツケバナ、(ユキノシタ科) イワネコノメソウ・ニッコウネコノメソウ・マルバネコノメソウ・ウツギ・ヒメウツギ・スグリ、(バラ科) ヘビイチゴ・カスミザクラ・バライチゴ・サナギイチゴ・エビガライチゴ・

クマイチゴ・モミジイチゴ・チョウジザクラ、
(マメ科) ユクノキ、(ツリフネソウ科) ツリ
フネソウ・キツリフネ、(マタタビ科) サルナ
シ、(タデ科) イタドリ・スイバ、(ミズキ科)
ミズキ、(スミレ科) タチツボスミレ・ヒナス
ミレ・ケマルバスミレ・ツボスミレ・オカス
ミレ、(ウコギ科) ヤマウコギ・ウド、(セリ
科) セントウソウ・ジャニンジン・ウマノミ
ツバ・セリ、(イチヤクソウ科) ベニバナイチ
ヤクソウ、(アワブキ科) アワブキ、(エゴノ
キ科) ハクウンボク・オオバアサガラ、(オオ
バコ科) オオバコ、(イワタバコ科) イワタバ
コ、(モクセイ科) ミヤマイボタ、(ゴマノハ

グサ科) オオイヌノフグリ・タチイヌノフグ
リ・クワガタソウ、(サクラソウ科) サクラソ
ウ、(リンドウ科) アケボノソウ、(スイカズ
ラ科) ニワトコ・ガマズミ、(アカネ科) アカ
ネ・クルマムグラ、(シソ科) タチキランソウ、
(キク科) サワギク・フキ・オトコヨモギ・オ
ニタビラコ・ヒメジョオン、(カヤツリグサ科)
コハリスゲ・ヒメカンスゲ、(ツユクサ科) ツ
ユクサ、(サトイモ科) ヤマザトマムシグサ・
ホソバテンナンショウ・ショウブ、(ユリ科)
ウバユリ・ユキザサ・チゴユリ・ヤマガシユ
ウ・イワギボウシ・ミヤマエンレイソウ・ナ
ルコユリ

〔夏季例会合宿調査報告〕

湯の丸山・烏帽子岳の植物観察

池田登志男

第150回例会は平成7年7月18日～19日の2
日間、小県郡東部町の湯の丸山～烏帽子岳で
行われた。

参加者は幹事の林一六会長、林先生の研究
室にいる山下氏と宮島吉彦・中山 冽・池田
登志男、2日目の朝、飯山市から馳せつけた
大平仁一氏夫妻、佐久の友野増夫、丸子の白
井幸長、上田の川上美保子の計10名であった。

第1日目の8日は夕方宿舎の花紋に集まり、
懇親会と夕食の後、宿の若主人の柳沢さんの
標本を拝見したり、湯の丸・烏帽子一帯の植
物分布の現状や貴重種などの話を12時近く
になるまで聞く。宿舎の前の道端に見馴れない
オトギリソウがあるとのことで早速調べてみ
たところ外来のコゴメバオトギリであること
がわかった。1年ほど前から目についたとのこ
とであった。

第2日目の9日は、朝9時ごろ宿を出て、
湯の丸山の山腹の登山道を登りキャンプ場を
経て湯の丸山と烏帽子岳の鞍部に着いて昼食。
それから烏帽子岳の山頂に向かう。頂上
(2065 m) に着いたのは午後2時頃。それから
同じ道を戻り宿舎に夕方4時半ごろ帰った。

朝出発してから午前中に観察した主なもの
では、高木ではアカマツ・ミズナラ・ハリギ
リ・ズミ・キタゴヨウ・サビバナナカマド・
タカネザクラ・コメツガ・オオバミネカエ
デ・ダケカンバ・シラカバなどの林が見られ、
低木や小低木などでは、ミネヤナギ・ニシキ
ウツギ・ミヤマイボタ・レンゲツツジ・シモ
ツケ・ミヤマニガイチゴ・ヒロハツリバナ・
ミヤマホツツジ・サラサドウダン・コヨウラ
クツツジ・アズキナシ・ムシカリ・チョウセ
ンゴミシ・ツノハシバミ・ミヤママタタビ・
ハクサンシャクナゲ・ミヤマガマズミ・ウス
ノキ・ツクバネウツギ・クロマメノキなどが
主なものである。

草本類ではハクサンフウロ・クガイソウ・
コウゾリナ・ワレモコウ・ヤマヨモギ・ウマ
ノアシガタ・ノコギリソウ・ハバヤマボク
チ・ウスユキソウ・ウド・イワカガミ・ウシ
ノケグサ・シャジクソウ・ヘビノネゴザ・オ
オバコ・シシウド・ヤナギラン・アヤメ・グ
ンバイヅル・キオン・ニガナ・タチツボスミ
レ・ハンゴンソウ・ノハラアザミ・オオヤマ
フスマ・ウツボグサ・ヒメスゲ・ムカゴトラ